

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	コミュニティセンター整備事業		
部 局 名	市民政策局	課(室)名	地域振興課
		電話番号	087-839-2278

【事業全体概要】まちづくりの目標：分権型社会にふさわしいまち

総合計画	政策	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり		主体	市	
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		期間	平成 20年度～平成 27年度	
	基本事業	コミュニティ活動拠点の整備・充実		総事業費	1,945,720	
重点取組項目	重点取組課題 1 1			特定財源	国	98,543
関連根拠法令等					県	26,000
事業区分	その他	種別	事中・事後	市債	661,800	
事業種類	補助				他	4,000
				一般	1,155,377	

事業の概要
地域住民によるまちづくり活動の拠点として、また、生涯学習及び地域福祉の推進に資するため、中期整備指針に基づき施設ごとに整備の方向性をまとめた上で、コミュニティセンターの整備等を行う。

【事業の目的と指標】

対象	(1)旧公民館整備計画に該当するコミュニティセンター 2 館 (2)コミュニティセンター中期整備指針に該当するコミュニティセンター計 1 9 館(昭和 5 6 年以前に建設された施設)	対象指標名	
		旧公民館整備計画対象コミュニティセンター数	中期整備指針対象コミュニティセンター数
手段	(1)コミュニティセンターの建替え (2)耐震化を要する施設に対する耐震改修工事あるいは建替え	活動指標名	
		旧公民館整備計画に基づく整備箇所数	コミュニティセンター中期整備方針に基づく整備箇所数
意図	(1)施設を建て替えてコミュニティセンターを確保する。 (2)施設を改修あるいは改築し、コミュニティセンターの安全性の確保と環境改善を図る。	成果指標名	
		施設整備進捗割合	
結果	安心して利用できるコミュニティセンターの確保	効率指標名	
		職員人件費 1 0 0 万円当たりの実施施設数	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	棟	2	2	2	2	
	棟	19	19	19	19	平成 27年度
活動指標	館	2	2	2	2	
	館	4	5	7	8	平成 27年度
成果指標	%	28.6	33.3	42.8	47.6	平成 27年度
効率指標	施設	0.8	0.8	1.1	1.3	平成 27年度
トータルコスト	[千円]	212,430	173,659	443,932		
(事業費)	[千円]	205,190	166,278	436,255		
(職員人件費)	[千円]	7,240	7,381	7,677		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
コミュニティセンターの整備については、生涯学習基本計画における改築整備方針を引き継ぎ、古高松、下笠居及び三谷コミュニティセンターの改築に取り組んできたが、現状の建物を有効活用するために平成 2 0 年度に建物診断を実施し、中期整備指針を策定した。	平成 2 3 年度に耐震化を要する施設を対象に調査設計を実施し、現状の建物の有効活用が図れるか否かにより、耐震改修工事が改築かの整備方針を定め、整備を行っている。	平成 3 0 年度に耐震化事業の着手最終年度となることから、次期の整備計画を検討する必要がある。	地域コミュニティの活動拠点となるため、改修や改築についての要望や関心度も高い。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
B 現段階では市による実施が妥当である コミュニティセンターは公の施設であり、その管理は市長の権限に属しているため、市主体での実施が妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい コミュニティセンターの建物保持に必要とされる改修を行うことは、コミュニティ活動拠点の整備・充実及び避難所の機能維持のため、必要不可欠である。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
A 必要性はない コミュニティセンターは、中期整備指針に基づく整備を行う。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい コミュニティ活動及び生涯学習の拠点を確保ができないため、コミュニティ活動や生涯学習事業に支障を来すとともに、避難所としての機能を欠くおそれがある。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している コミュニティセンターの整備については、地元コミュニティ協議会と協議の上、進めることとしている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
A 向上余地はない コミュニティセンターの改修等が事業の成果であるため、向上の余地はない。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み/実施する必要がなかった コミュニティセンターの整備については、中期整備指針を策定し、指針に基づく整備を行っている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
C 概ね達成できた 計画に基づく目標については、概ね達成できている。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
C 概ね達成できた 計画に基づく目標については、概ね達成できている。
10. コスト縮減ができたか
B 縮減できた 工事内容等を精査し、コスト縮減に努めた。

【一次評価】

評価区分	継続																									
コミュニティセンターはコミュニティ活動の拠点となる施設であり、施設整備については、中期整備指針に基づき改修あるいは改築整備を計画的に実施する必要がある。																										
	改革案	期待効果																								
内容	中期整備指針の対象以外の施設について、次期コミュニティセンター整備計画の策定を検討する。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
	阻害要因																									

【二次評価】

評価区分	継続
コミュニティセンターについては、コミュニティ活動の拠点となる施設であり、施設整備については中期整備指針に基づき計画的に実施するとともに、整備を先送りした施設については、次期整備計画の中で改めて位置付けを行う。	